

原子力

企業 ▶ 起業

仕事内容にこだわり起業

森崎利恵子（エネルギー広報企画舎 代表）

仕事の内容とやりがいについて

電力会社で原子力の技術と広報の両部門で働いた後、現在はフリーランスで、一般の方に原子力を正しく理解していただく広報の仕事をしています。原子力を押しつけるのではなく、まずは知ってもらうこと、そして特に子供たちに対しては、原子力などの科学技術の根底にある理科を好きになってもらうことを大切にしています。なんとなく原子力を敬遠していた方々が、対話を通じて興味や理解を示して下さったり、子供たちが実験教室で新たな発見に喜び、未来の科学者や技術者の候補になったり、人の心に触れることができる仕事だと思っています。

私の進路決定のきっかけ

高校時代は別の職業を目指していて、大学受験では違う学科を受けましたが、その学科に落ち、第三志望の原子力系の学科に入りました。原子力系での女性人口は極端に少なく、女性であることがハンデになるかという思いもありましたが、大学の恩師の「原子力でも広報なら女性の方が向いている」との言葉が頭の片隅に残り、電力会社に技術系として就職してからも広報への希望を出し続けました。その甲斐あって希望がとおり、やりたい仕事に巡りあえた気がします。会社を辞めて帰郷しても、この仕事は続けたかったので思い切って起業しました。

仕事と家庭のバランスについて

今は実家の自室が事務所ですので、家にいるときは家事を分担し、家族と互いに協力しあっています。結婚して自分自身の家庭を持つのはこれからですが、時間のやりくりを上手にして、結婚しても両立できるスタイルを確立できればと思っています。

進路選択についてのメッセージ

人生は、想像もしなかった展開になることもあります。ですから、その時に動じないでベストの選択ができる「臨機応変力」も必要になってくるでしょう。皆さんは、自分の可能性を過小評価しないで、色んなことにチャレンジしてください。その経験は必ず力になります。頭で悩むだけではなく、まずはその時にできることを行動に移してみてはいかがでしょうか？ それも経験の一つになりますよ。

<森崎利恵子（もりさきりえこ）プロフィール>

- 1995年 九州大学工学部応用原子核工学科卒
- 1997年 九州大学大学院工学研究科応用原子核工学専攻修了
- 1997年 電力会社入社
- 2005年 退社、帰郷
- 2007年 エネルギー広報企画舎設立

